

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	桶川地域文化振興共同事業体
評価対象年度	令和5年度
施設所管課	文化財・博物館課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされ、安全性が確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	人気児童書と連携した企画展を実施するなど、魅力ある事業の実施に努めていた。
	利用状況	A	利用者数が目標を上回った。 (目標)43,100人 → (実績)50,394人
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めていた。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	幼児・児童をターゲットにした企画展の開催や、猛暑対策として館内にクールスポットを設置するなどサービス向上に努めた。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が、職員対応、衛生環境とも目標に達した。 (目標)職員対応90%以上 → (実績)97% (目標)衛生環境(清掃)90%以上 → (実績)98%
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、良好である。

特記事項	特に評価すべき点	企画展示及び各種普及事業などにおいて、様々な工夫を凝らし、利用者数の増加に努めた。重大な施設事故等も認められず、利用者からの評価も良好で、通年、適切な管理運営を行っていた。
	次年度に向けて改善が望まれる点	